

演 題：パーシャルデンチャー患者体験記

演 者：村岡 秀明（歯科医師）

～抄録～

デンチャーライフ研究会という勉強会があります。神奈川県藤沢市で横浜歯研というラボを運営されている土田康夫氏が会長をしています。それでおわかりのように、歯科医師よりも歯科技工士の参加の方が多き義歯勉強会です。そこでは、会員発表を行なっている毎回の例会とは別に、みんなだ一人の患者さんの義歯を作って、ウデ比べをしようという試みが行なわれています。

一昨年は上下無歯顎の患者さん（この患者さんも歯科医なのですが）の上下総義歯を作製したのですが、昨年はパーシャルデンチャーを作ってみようということになりました。ところが、パーシャルデンチャーとなると、患者さん探しがなかなか難しいのです。それでは、と、患者役として私が名乗り出ました。同じ欠損模型上で研究会メンバーの皆さんに義歯を製作してもらい、その結果、私は上下合わせて26個ほどの義歯を持っております。

いろいろな設計の、レジン床、純チタン床、チタン合金床、コバルトクローム床、金床、そして、ノンメタルクラスプのもの、軟性裏装材を使用したもの、さらに3Dプリンターを利用したものから、新しくはジルコニア床も作ってもらいました。今回は、歯科医として、ラボのオーナーとして、そして患者としての立場から、パーシャルデンチャー患者体験記をお話しさせていただきます。